

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けに取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、かたづけをしている。という項目について、自力摂取ができる入居者様にもかかわらず、職員が介助して摂取する様子がみられた。時間がかかっても自力での摂取を促し、食事を楽しむ事ができる工夫を期待したい	・スタッフ個々人が各利用者様の食事における残存機能を把握し、それに合わせた適切な食事支援を行うことができる。	・各利用者様の食事機能の把握と、職員間の情報共有の徹底。 ・毎日の申し送り時にユニットスタッフ全員で各利用者様の食事の援助方針を話し合い、徹底させる。 ・申し送りノートに食事介助の必要性の程度を記入しておき、どのスタッフが見てもすぐに確認できるようにしておく。	6ヶ月
2	26	○チームでつくる介護計画とモニタリング ・現在の介護計画では目標の部分が漠然としている部分がある。目標の設定において短期目標・長期目標と設定するのはどうか	・これまで以上に、1人1人のニーズに合わせ、目標を明確にし、具体化したケアプランの作成を行う。	・ケアプラン作成にあたり、今後は長期目標・短期目標を設定していき、目標を明確にする事で具体化していく。 ・本人、ご家族、各職員とよく意見交換を行い、個別的なプラン作成を行う。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。